三年食物科謝恩会
十八年間の感謝をここに結集

豪華な二段弁当

二月九日、三年食物科の謝恩会が開かれた。保護者に生徒たちが作った料理を食べてもらう、平成十一年度から続く伝統企画だ。例年は食事会を設けるが、今年はコロナ対策で持ち帰り弁当とした。生徒は一月から準備をはじめ、当日は早朝からキビキビと作業に取り掛かった。手毬寿司、出し巻き卵、天ぷら、ローストビーフ、たこときゅうりの酢の物、ポテトサラダ、飾りりんご、うさぎまんじゅう等々。三年間で培った技術と感謝の思いをぎっしり詰めた弁当が輝いていた。

保護者は調理室で弁当を作る様子を見学、その後シアターに移動し、我が子からの手紙が添えられた弁当の前に着席した。校長と委員長の挨拶の後、料理に込めた思いを各担当が発表した。続いて保護者代表挨拶、担任の言葉と、温かい空気に包まれて会は閉じた。

保護者代表の渡辺真理子さんは「支えてくれた先生方に感謝している。息子は残り少ない高校生活が名残惜しそう。良い仲間に出会えて学校が大好きなことが親として嬉しい」と挨拶した。実は渡辺さんは第一回謝恩会の生徒だった。「息子と共感できることがたくさんあり嬉しかった。お弁当を開けた瞬間いろんな思いが伝わってきて、昔母もこんな気持ちだったのかな？と不思議な気持ちになった」と懐かしんだ。

美味しそうな具材を詰めていく

男泣きの堀先生

担任の堀先生は「生徒が日頃の感謝を伝える場所を作れてよかった。一年生の頃は自分のことしか見えていなかった彼らが、百食弁当の時には仲間を思いやるシーンがたくさんあって技術や心の成長を感じた。皆で何かを共有することを大事にして欲しいと伝えてきたが、それもできていた。五ホームの担任でよかった」と涙をぬぐった。

謝恩会を終えた三年生は「これまでに身につけたことを発揮し美味しく食べてもらえるように感謝を込めた」「先生や親には三年間お世話になりました。悪ガキでしたが最後までありがとうございました」「この三年間は一生忘れません。お母さん毎日お弁当を作ってくれてありがとう」と語った。

息子から母へ
渡辺さん親子

二年食物科十名「奇跡のレッスン」に出演

一月三十一日にＢＳ１で放送された「奇跡のレッスン」に食物科二年の男女十名が出演した。コーチは京都の老舗料亭でミシュランガイド十二年連続三ツ星の「菊乃井」三代目店主村田吉弘さんだ。

収録期間は十一月十五日～二十二日までの一週間。村田さんは料理の本質を理解することや福井の恵を再認識してもらいたいとこの地を選んだとのこと。かつおと昆布の美味しい出汁や、瓜割の水で炊いたご飯に驚きと感動を見せる生徒の表情が印象的だった。最終課題は「家族にふるまう、食べた相手を泣かせる料理」プロでも難しいこのお題に生徒は深く悩まされた。村田さんは「心の琴線に触れる必要がある」と語りかけ、生徒が試行錯誤する姿を楽しそうに見守っていた。

「秋の炊き合わせ」を作った菊地京華さんは、試作では料理に荒さが目立ったが、目に見えない細かなこだわりを積み重ねることを学び、素材一つ一つ調理法を変えることで繊細な一皿を完成させた。家庭では進路のことでぶつかることもあったが、料理を前にした両親は娘の成長を噛みしめ涙した。

コーチの手厚い指導

「鯛の黄金焼き」を作った中村虎徹さんは、父が養殖する敦賀真鯛を使った料理を考えていた。鯛の調理は難しくかなり苦労した中村さんは、どうしたら器用に物事をこなせるようになるのか質問した。すると村田さんは「器用になる必要はない。愚直に頑張ることが大切」とアドバイス。コツコツ頑張ればいいんだと吹っ切ると、卵黄を何回も塗り重ねて作る「黄金焼き」を完成させ「美味い！旅館で出したい」と言わせるほど父を驚かせていた。

レッスンを終えて生徒は「和食に対する考え方が変わった」「『考えることが料理を作ること』という言葉に感銘を受けた」「一流の先生から直接教えてもらえて勉強になった」等と振り返った。

実際には放送時間に収まりきらない一人一人のドラマがあったという。長谷先生は「自分自身も勉強になった。レッスンを受けた生徒達の顔つきは最初と最後で大きく変化し、目がキリッとしていた」と生徒の成長を喜んだ。

ファッションデザインコンテスト優秀賞
生活情報科　鳥居楓月さん
美方高校からは八年連続出場

一月三十日、全国高校生ファッションデザインコンテストが神戸新聞松方ホールで開催された。今年はコロナの影響でリモートでの観覧となった。デザイン画審査を突破した二十五点の作品が審査される中、二年四ホームの鳥居楓月さんが優秀賞に選ばれた。そこで鳥居さんにインタビューした。

デザイン画と実際に制作したドレス

Qテーマは何ですか？
世界平和。世の中の闇（黒）を平和のシンボルカラーの白で包み込み、輝く白い花を咲かせた。

Qどこにこだわりましたか？
現実離れした細かい構成。細かいパーツをたくさん作ったこと。多くの人に協力してもらった。

Q賞に選ばれた感想は？
優秀賞の嬉しさと大賞に届かなかった悔しさがある。

Q今回の経験をどのように生かしていきたいですか？
他の人の作品を見て色や大きさ等に刺激を受けたため、今後の作品作りに生かしたい。

小林先生は「コロナの影響で生徒が会場に行けなかったことが残念だった。しかし、鳥居さんや生徒のより良い作品にしようと努力する姿があり嬉しく思った」と語った。

一年食物科　すし講習
プロの教えで本格巻寿司

太巻きを巻く先生

一月一三日（水）、一年食物科対象にすし講習が行われた。太巻き、細巻き、出汁巻き卵の作り方をプロの寿司職人から学んだ。福井県のものづくり産業の発展のために若年へ技術を伝える「ものづくりマイスター事業」の一環である。講師はグランユアーズフクイの大熊英幹先生、咲良の福岡一夫先生、鮨富の島川陽平先生。

【大熊先生Q&A】

Q 講習の感想は？
A 礼儀正しく素直に動いてくれて教えやすかった。
Q 寿司職人歴と寿司職人になった理由は？
A 四十二年。幼い頃から食に興味があり人を笑顔にする仕事がしたくて飲食業を選んだ。
Q 思い入れある寿司ネタは？
A 自家製かんぴょうの太巻
Q 一番好きなすしネタは？
A 中トロ
Q 一年で一番大変な時期は？
A 十二月（おせち料理等）
Q 仕事のやりがいは？
A お客様が「また来るね」と笑顔で帰られた時。
Q 寿司職人になるには今何を頑張ればいい？
A 身の回りや部屋の片づけ、整理整頓を身につけること。

講習を終えて生徒は「有名店の技術を教えてもらい自分のためになった」と話した。担任の國分先生は「だし巻き卵が上手に巻けていたので今後に期待したい」と語った。

先生作の寿司

編集後記

百五十四号を読んでいただきありがとうございます。今回も取材やアンケートで多くの方々に協力していただき完成させることができました。

三年生の皆さんご卒業おめでとうございます。三年生は学校行事や部活動で中心となり私達を引っ張り、多くの活躍を見せてくださいました。三年間お世話になり本当にありがとうございました。表面の寄せ書きはグーグルフォームで集めました。後輩から先輩へたくさんの感謝の思いが込められています。

我々新聞部も約九ヶ月間三年生と共に活動し、取材の仕方や新聞を作る上での心構えなど多くのことを学びました。いよいよ春からは自分達も後輩に教える立場になります。先輩方から学んだことを胸に、しっかり活動していきます。そして読者の皆さんが興味を持つ新聞になるよう、新たな試みも取り入れ、面白さがあふれる新聞制作に励んでいきます。

イマドキの美高生
バレンタイン編

一・二年生を対象にアンケート調査を行った。美高生のバレンタイン事情とは！？

もらったことがある？
男女共にほぼ一〇〇％が「ある」と答えた。その内、三十個以上もらった人が十五％を占めた。

もらって嬉しかったものは？
男女共にチョコが多かった。他に、手紙や愛情というあま～い回答もあった。

あげたことがある？
女子は一〇〇％、男子は一五％と大きな差があった。

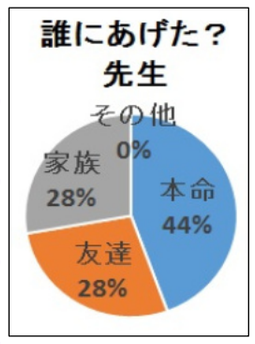
手作り派？購入派？
男子は半々だったのに対し、女子は九三％が手作り派。

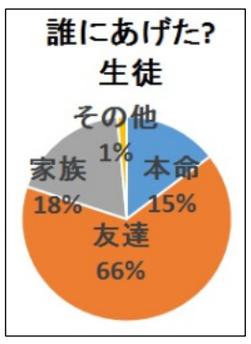
バレンタインは好き？
男子「はい」五十五％
・いっぱいチョコが食べれる
男子「いいえ」四十五％
・もらえないから
女子「はい」六十七％
・友達と交換するのが楽しい
女子「いいえ」三十三％
・作るのが面倒、大変

手作りお菓子の交換があちこちで

ここからの質問には先生方にも学生時代を振り返って答えて頂きました。生徒と先生の違いが明らかに！？

誰にあげた？

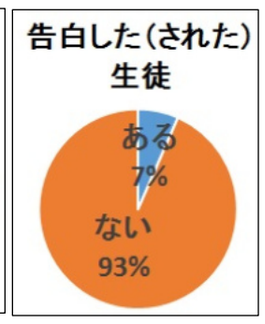


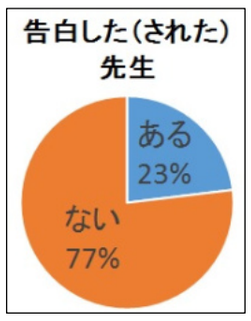


誰にあげた？

生徒は「友チョコ」が、先生は「本命」が最多。本命以外あげたくない（五十代女性）という熱い回答も。

バレンタインで告白した（された）ことはある？





先生方の学生時代の方が積極的だった様子。先生で「ある」と答えた人は、男女ともに三十代から四十代だった。

甘酸っぱい思い出を教えて！

（生徒の回答）
好きな人が家までチョコを渡しに来てくれた▼中学の時チョコを渡していたら先生に見つかって反省文を書かされた

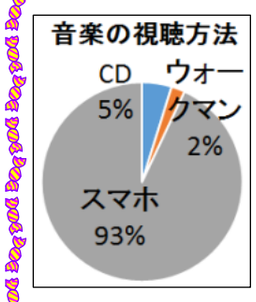
（先生の回答）
大好きな人に作ったチョコレートケーキのレシピを捨てられずに今でも持っている（三十代女性）▼朝、机の中にチョコがあってドキドキしていたが友達のいたずらだった（四十代男性）▼片思い中の先輩に放課後チョコを渡した（二十代女性）▼誰にあげた、もらったの噂は学校中をかけめぐっていた。みんな知らないふりをして進展を興味津々で見守っていた（五十代女性）

渡す相手や熱の入れ方に世代間の違いが見られた。先生方の思い出がステキだった。

ミュージック編

放送委員会とのコラボで、一・二年生を対象に音楽についてのアンケートを行った。美高生はどんなミュージックライフを送っているのか！？

好きなアーティストは？
①BTS
②平井大・back number
③TWICE



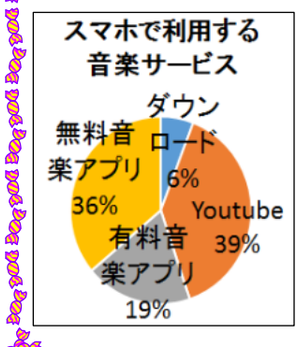
好きな歌は？
①ドライフラワー（優里）
②ピーターパン（優里）
③東京フラッシュ（Vaundy）

どんなシチュエーションと音楽を聴きますか？
①登下校中
②勉強中
③寝る前

卒業ソングといえば？
①３月９日（レミオロメン）
②旅立ちの日に
③さくら（森山直太郎）

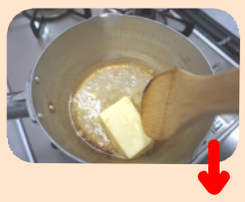
恋愛ソングといえば？
①クリスマスソング（back number）
②Love so sweet（嵐）
③I Love...（Official髭男dism）

特にJK-POPアイドルやテレビでは見ないSNSで流行している曲が人気だった。好きな歌は多様で意見が散らばっていた。これから校内放送でリクエスト曲を流していきます。お楽しみに！



ともキッチン
今回は可愛いくてホワイトデーにもらった人が嬉しくなるようなシュークリームです。

材料（１２個分）
・水　１２５ｃｃ
・卵　２～３個
・バター　７０ｇ
・油　８ｇ（小さじ２）
・薄力粉　８０ｇ
・生クリーム　６０ｇ
・砂糖　６ｇ
・いちご　お好み



①水、油、バターを入れて沸騰するまで熱する

②①のバターが溶けたら振るいをかけた薄力粉を一気に入れて木べらで混ぜる

③②に溶いた卵を少しずつ入れて混ぜ（３つの場合は全て入れない）、逆三角に生地が立つまで混ぜる

④③を絞り袋に入れて４センチ間隔で絞り出し、角が立った部分を濡らした手先で押す。１９０度に熱したオーブンに入れ２０分間加熱したら１８０度に下げ、１５分加熱する。そして１０分間放置する

生クリームやイチゴは工夫して飾ると可愛いよ！